NEWS ヘッドライン

RSS

サイバーテック、SaaS向けのWebアプリケーション基盤ソフトウエア「Web To X」を開発

2010.06.07

サイバーテック（千代田区）は、SaaS向けのWebアプリケーション基盤ソフトウエア「Web To X」を開発した。

「Web To X」は、ユーザインタフェースに、XMLと親和性の高いRIA（Rich Internet Application）技術であるAdobeシステムズ社のFlexを採用したWebアプリケーションシステムで、コアデータベースには、自社製品であるXMLデータベース「NeoCoreXMS」を採用している。

同アプリケーションは、データの入力インターフェースとデータベースの基盤部分をSaaS用にパッケージ化したため、既存のパッケージシステムやASPサービスのSaaS化を進めることができる。また、出力部分は業務や用途によってシステムに適用させることが可能。

「Web to X」の特徴は以下。

1. 柔軟で操作性が優れたRIAのWeb入力フォーム
ユーザインタフェースに、XMLと親和性の高いRIA（Rich Internet Application）技術であるAdobeシステムズ社のFlexを採用する事で、ブラウザを用いたデータ入力の操作性、利便性を向上させる。

2. データベースを全く意識させないXMLデータベース
要素技術としてXMLを採用、ブラウザから入力されたデータは、XMLデータベース「NeoCoreXMS」に格納される。入力フォームのデータ項目は、管理者によってブラウザから自由に追加変更ができる。その際データベース側の項目については全く意識する必要がない。

3. 業務や用途に合わせてXMLデータを様々な帳票ツールに出力
XMLデータベースに格納されたデータを様々なメディアに出力でき、様々な用途に適用する事が可能。XMLデータをデータソースとして取り込むことができる帳票ツールやDTPツールさらにはWordやExcelなどの形式に出力できる。

4. 社内業務システムからSaaSサービスまで対応
「Web to X」を使ってWebシステムを構築することで、アプリケーション開発期間とコストを抑えることができる。さらに、SaaSサービスを手軽に始めたい企業がSaaSシステムを構築できる。

【関連】ASP・SaaSナビ「 統合サービス - 基幹システム 」一覧

プレスリリース

株式会社サイバーテック

タグ　プラットフォーム　基盤